鎌高新聞

発行　神奈川県立鎌倉高等学校　校長室

令和4年11月21日　　第20号

総合型選抜入試の拡大について

大学で学ぶのに高校で何の教科を履修修得しておくことが必要なのでしょうか。私立大学の入試科目が必要なのでしょうか。文系なら国社英、理系なら英理数が一般入試における一般的な入試科目です。私自身、英語、国語、社会(世界史)で受験して入学しました。いまから50年前、高校における英語の授業において英会話の時間はなく、大学進学後も講義で英会話を学ぶ機会は、英文科に進学した学生以外はほとんどありませんでした。私は数学が不得意なのに経済学部に進学してしまい、入学後、経済学では数学を頻繁に用いるため、単位修得に苦労しました。数学が不得意で留年や退学した学友は何人もいました。私が大学入試を受験していた頃、指定校入試で進学する者もいましたが、多くの生徒は一般入試で進学していました。大学の指定校制度を設けていた大学も、現在より少なかったような気がします。

大学入試改革に伴い2021年度入試から、一般選抜以外に、学校推薦型選抜、総合型選抜の制度が導入されました。学校推薦型は旧来の指定校入試や公募制入試であり、大学から指定された高校や、一定の資格や条件等で公募する形で行われています。総合型選抜は旧AO入試に相当しますが、現在は書類だけではなく小論文や面接、共通テストなどの学力評価の方法を導入することが必須となりました。

7月11日発行、週刊誌『AERA』No31号の巻頭特集は「総合型を制す者が大学入試を制す」という見出しで記事が載りました。記事内容を紹介すると、現在、一般選抜で入学する学生は半数以下と記されています。文部科学省によると2021年度の総合型選抜での入学者は、私立大学は71,292人、国公立大学は6,629人、20年前と比較すると私立大学4.7倍、国公立大学は11.5倍となっています。確かに18歳人口の減少により、大学としては学生を確保するために学校推薦型選抜、総合型選抜での入学者を増やしています。しかしながら、総合型選抜の入学者を増加させている大学は学生確保の観点のみならず、入学後の伸び代を重視しているようです。

『AERA』には、東北大学は募集定員のうち、総合型選抜の占める割合が３割を超すと書かれ、「AO入学組のほうが入学後の成績が伸びる」というもデータ示されています。記事では、河合塾の近藤主席研究員が「口先だけではダメ。一目ぼれもダメ。大学と学生が互いにミスマッチを防ぎながら進路を決める。

総合型選抜は究極の“お見合い入試”です」と言っています。それではどのような選抜方法を取っているのでしょうか。そういう点では、大学が求めている学生像と、自分が大学に求めているものをマッチさせることが必要です。

総合型選抜では、出願書類の志望理由書や、実技試験の面接などを通じて、受験生を総合的に評価し、受験生の人物像と大学の求める学生像がどれだけ合っているかなどで選抜される入試です。高校で何を学んできたのか、いままで何をしてきたのか、大学で何をしたいのか、将来の夢などが、提出書類や面接で問われます。また、グループディスカッション、実技、協同実験、自主研究の発表などを課す大学もあります。やはり自らの過去―現在―未来を示すこと、語れることが大切だと思います。

『AERA』の記事「大学入試のいま　現場」の中に、総合型選抜に対応した授業、クラス編成等が記され、その一例として山梨県北杜市にある北杜市立甲陵高校が紹介されています。北杜市は人口４万余りの小都市に、県立高校１校、市立高校１校、私立高校３校(うち１校は通信課程)の５校ありますが、この甲陵高校から毎年東大や京大などの国立大学に合格者を輩出しています。甲陵高校は中学校を併設し、中高一貫 6 年の教育課程が組まれています。高校は県内のみならず全国募集を行っており、県外や国外から入学できます。そのため男子寮・女子寮を設置しています。この高校は、単位制、90 分授業、校内模試の WEEKLY　TEST(定期テストがなく、毎週 1～２教科のテスト)、予備校との連携によるサテライト授業、課題研究発表会、SSH の指定、大学との連携など、特色のある教育システムを取っています。

校長自身、神奈川総合高校の創設期に勤務していた頃、「課題研究」という科目がありました。この科目は、大学の卒業論文の高校版であり、生徒たちは３年生時に自分の課題を見つけ、論文作成に励んで提出し、発表を行っていました。これに労する時間は多く、大学入試に影響を及ぶと危惧する声もありましたが、評価の高い論文を書いた生徒の大半が、難関大学や有名大学に進学していました。

本校では理数教育推進校として総合的な探究の時間や、理数探究基礎、情報などをとおして、生徒の複眼的・多面的な思考や教科横断的な力を身につけさせ、サイエンティフィック　グローバル　リーダーの育成を図っています。

大学側の求める学生像とは何でしょうか。総合型選抜や学校推薦型選抜で受験する生徒は、大学のアドミッションポリシーを理解してください。アドミッションポリシーは、大学の入学者の受け入れ方針が示されています。各大学の特色や教育理念、ミッションなどから学生に求める姿勢、力などが示されています。大学によっては学部・学科毎にアドミッションポリシーが示されていますので、自分が大学に求めているものと一致する学校を探してください。